

自然環境に関心を持ち
自然や生態系を守っていこう
とする心を育む

自然のすばらしさを感じ
やさしさや思いやりの心を育む

ネイチャーランド文珠

地域の生態系保全の場

地域住民の憩いの場

学習に生かす力

- 自らが探求する
- 課題を解決する
- 自然とのふれあいを大切にする

ネイチャーランド文珠の特徴

ネイチャーランド文珠のある場所は山治いの休耕田で、生物などの行き来がありました。周囲は水田に囲まれ、民家も近くにあり、人との関わりあいの中で自然をはぐくんできた地域といえます。

ビオトープ内の生物や植物は、文珠地区で採取されたり、生物自ら侵入してきたものです。そして、地域の資源を守り、育てていこうという考えから、外国から入ってきた生き物は排除しています。これら外来種は、日本に古くからいた生き物と競合しても強く、もともといた日本の生き物がいなくなってしまうのを防ぐためです。今後、日本古来の生態系を回復する見本になるでしょう。また、ネイチャーランド文珠内では、古代種の復活を目指し、文珠山の表土を移植して、どんな植物が生長するか観察しています。

ネイチャーランド文珠内の生き物

植物 陸上 フユイチゴ・モミジイチゴ・タラノキ・タニウツギ・ミツバアケビ・ホタルイ
ススキ・クサヨシ・ドクダミ・セリ・ミソハギ・ミソソバ・クサギ・アズキナシ
クヌギ・ハンノキ・ヌマトラノオ・カササゲ
水中 キクモ・コナギ・オモダカ・ハリイ・ショウブ・タヌキモ・ヒシ・ミズニラ
ミズワラビ・ミクリ・ホッスモ・コウホネ・ヤナギモ・ミズオオバコ

《埋土種子実験の発芽》 フユイチゴ・イヌザンショウ・タチツボスミレ・ネム
アカメガシワ



オモダカ



コウホネ



キクモ



コナギ



ミクリ



ミソハギ

動物 ほ乳類 イノシシ・モグラ・キツネ・カヤネズミ
鳥類 アオサギ・カルガモ
両生類 ニホンアカガエル・トノサマガエル・アマガエル・シュレーゲルアオガエル
は虫類 アオダイショウ・ニホンイシガメ
甲殻類 モクズガニ
昆虫 シオカラトンボ・オオシオカラトンボ・ショウジョウトンボ・アキアカネ
ギンヤンマ・サナエトンボ・アオイトトンボ・ミズカマキリ・タイコウチ
マメゲンゴロウ・ガムシ・マツモムシ・カブトムシ
軟体動物 オオタニシ・ヒメタニシ・カワニナ
魚類 メダカ・ギンブナ・ドンコ・カワムツ・ドジョウ・タモロコ



カヤネズミの糞



トノサマガエル



メダカ



ショウジョウトンボ



カルガモのタマゴ



ニホンイシガメ

ネイチャーランド

文珠 もんじゅ



福井市文殊小学校
足羽川堰堤土地改良区連合



ビオトープを つくろう

生きもの調査



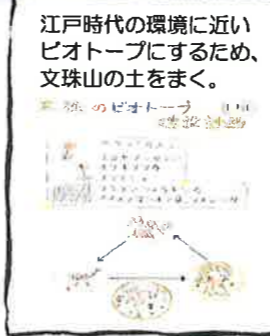
文殊地区にはどんな生物がいて、
どんな植物があるのだろうか？
みんなのまわりには豊かな自然が
ありました。



子どもビオトープ会議



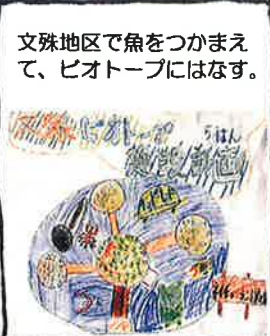
豊かな自然を守るにはどうすればいいだろう？
見かけなくなった生き物はどうすれば帰って
くるだろう？こんなビオトープにしたい！みんな
の提案で、ビオトープへの夢は広がります。



ネイチャーランド文珠を
生き物の住みよい
環境にしたい。

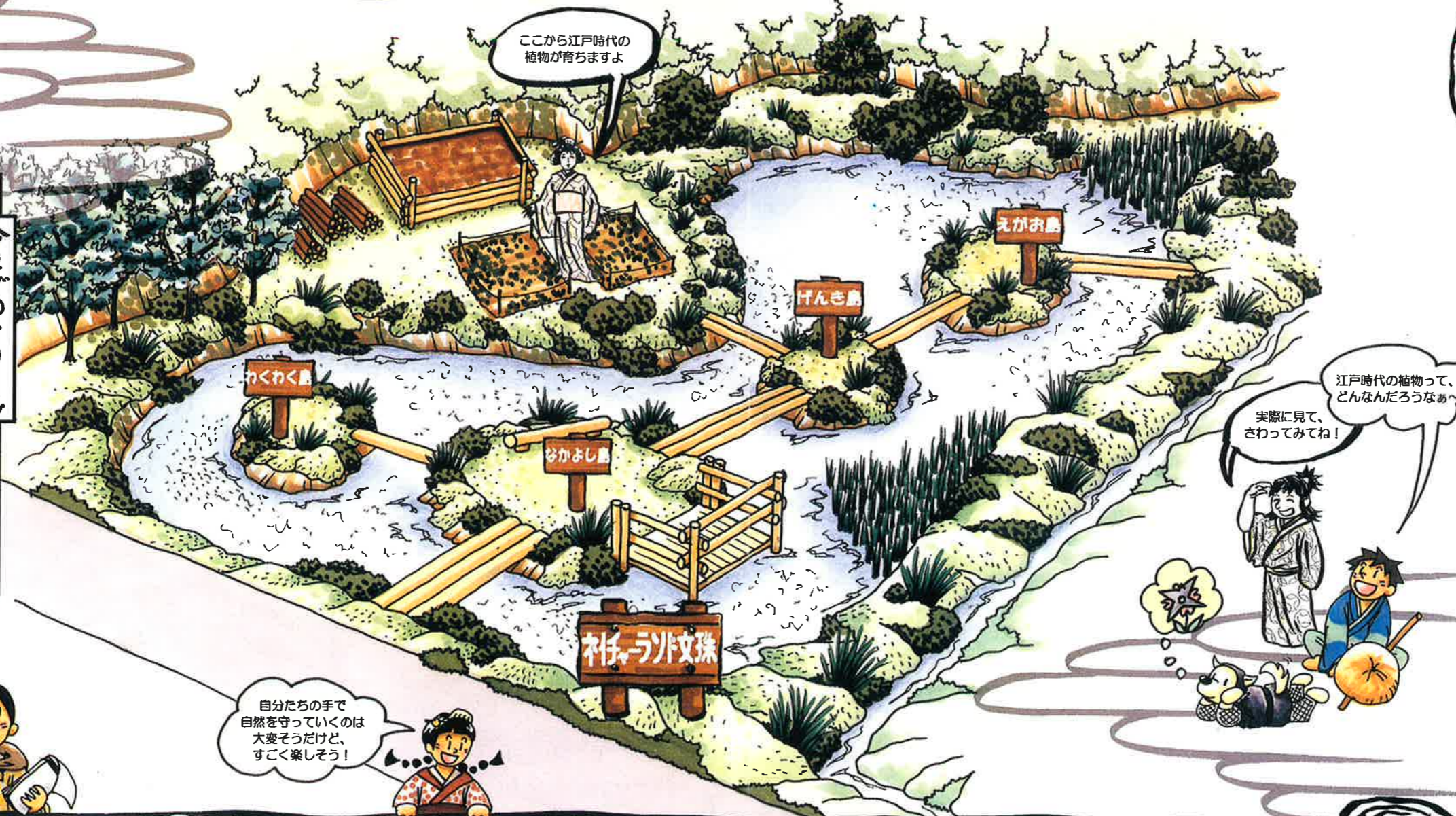
2班
ネイチャーランド 文珠
生き物の住みよい
環境にしたい！

観察のじゃまにならない
程度に植物を植える。
文珠には文珠にしかない
ビオトープをつくる。



今までのとり組み

- 一、江戸時代の植物たちをとりもどそう
文殊山の土をまき、昔の植物を復活
- 二、土壌の栄養分に、林床の落ち葉などをまき
- 三、地域の植物の植え込み
- 四、地域の実のなる植物、花の咲く植物の植栽
鳥類や昆虫を増やす効果の高い植物を選ぶ
- 五、地域の水生生物の移植



季節ごとに表情が全然
違うから、いろんな季節
に足を運んで、自分なりの
観察記録を書いてみたら
どうだろう！



自分たちの手で
自然を守っていくのは
大変そうだけど、
すごく楽しそう！



ビオトープが できました

地域のみなさんが協力してくれました。
ありがとうございました。



季節によって表情を変えるビオトープ。

▼ 春のビオトープ



▼ 夏のビオトープ



▼ 冬のビオトープ



過去から未来へ みんなをつなぐ

ネイチャーランド文珠は地域の生態系を守り、みんなの学習の場にもなっています。
日本に昔からいた生き物や植物をねづかせ、江戸時代の人が見た自然をわたしたちも見られるように、これからも観察をつけ、手を加え、育て、守ります。そして、それを未来の人に引き継いでいきます。

みんなが ビオトープを つくる

ビオトープ観察記録



五月十四日の二回目の観察に来て、
なんと植物の芽がでていました。
だいたいは一個くらい、でていました。
とても小さくてまだ、なんという植物
か分かりませんでした。でも芽がで
ていたのは、とても嬉しかったです。

ビオトープには、ザリガニが大量発生
しているらしく、メダカが大丈夫かな
と思いましたが、観察してみると、池の
中にはメダカが少なくて、ザリガニが
見つけられました。だから、メダカがい
なくなったりしないかとても心配です。

〜(一部抜粋)